

# 企業物流短期動向調査（日通総研短観） 調査結果

（2009年3月調査）

2009年4月

株式会社 日通総合研究所

ホームページはこちら

<http://www.nittsu-soken.co.jp>

# 目次

I. 調査の内容.....	1
II. 調査の結果.....	3
1. 国内向け出荷量の動向 .....	3
2. 輸送機関利用の動向 .....	7
(1) 一般トラック .....	8
(2) 特別積合せトラック .....	9
(3) 宅配便 .....	10
(4) 鉄道コンテナ .....	11
(5) 内航コンテナ .....	12
(6) 国内航空 .....	13
3. 輸出入貨物量の動向 .....	14
(1) 外貿コンテナ ー輸出ー .....	15
(2) 外貿コンテナ ー輸入ー .....	16
(3) 国際航空 ー輸出ー .....	17
(4) 国際航空 ー輸入ー .....	18
4. 在庫量と営業倉庫利用の動向 .....	19
(1) 在庫量 ー原材料ー .....	20
(2) 在庫量 ー製品ー .....	21
(3) 営業倉庫保管量 .....	22
5. 運賃・料金の動向 .....	23
(1) 一般トラック運賃 .....	24
(2) 特別積合せトラック運賃 .....	25
(3) 鉄道コンテナ運賃 .....	26
(4) 内航コンテナ運賃 .....	27
(5) 国内航空運賃 .....	28
(6) 営業倉庫保管料金 .....	29
6. 物流コスト割合の動向 .....	30

## I. 調査の内容

**目的** : 本調査は、足もとの出荷状況等を各企業（事業所）の物流担当者に直接回答していただくことで、荷主企業の物流動向について業種横断的かつ包括的な情報を、データの形で迅速に公の場に提供することを目的として実施するものである。

**方法** : 本調査はアンケート方式により、四半期ベース（3月、6月、9月、12月の年4回）で実施する。

調査項目は次のとおりであり、当期実績見込みと次期見通しを対前年同期比「増加する」、「横ばい」、「減少する」もしくは「値上り」、「変わらない」、「値下り」等の3つの選択肢の中から選択回答する。

1. 国内向け出荷動向
2. 輸送機関別利用動向（一般トラック、特別積合せトラック、宅配便、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空）
3. 輸出入貨物の動向（外貿コンテナ、国際航空）
4. 在庫量（原材料、製品）と営業倉庫利用の動向
5. 運賃・料金の動向（一般トラック、特別積合せトラック、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空、営業倉庫保管）
6. 売上高に対する物流コスト割合の動向

集計は、調査項目ごとに各選択肢の回答事業所数を集計し、その合計事業所数に対する割合を算出、以下により動向判断指標<sup>(\*)</sup>とする。

$$\text{動向判断指標} = \left[ \begin{array}{l} \text{「増加する（値上り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right] - \left[ \begin{array}{l} \text{「減少する（値下り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right]$$

なお、この指標は荷動き等に対する各事業所の（定性的な）動向を集約するものであり、この結果がそのまま全体としての（定量的な）出荷量などの増減を意味するものではない。

(\*) 動向判断指標：本調査では、調査項目に応じて『荷動き指数』、『運賃動向指数』等の名称を付している。

**調査対象** : 製造業、卸売業の主要2,500事業所を対象とする。

## —今回調査の回収・集計状況—

今回調査は、2009年1～3月の実績と2009年4～6月の見通しを3月初旬時点でうかがったものであり、1,093社からご協力をいただき、回答率は43.7%となった。

なお、業種別にみた調査対象企業数、回答企業数ならびに回答率は、次表のとおりである。

調査対象企業数と回答企業数

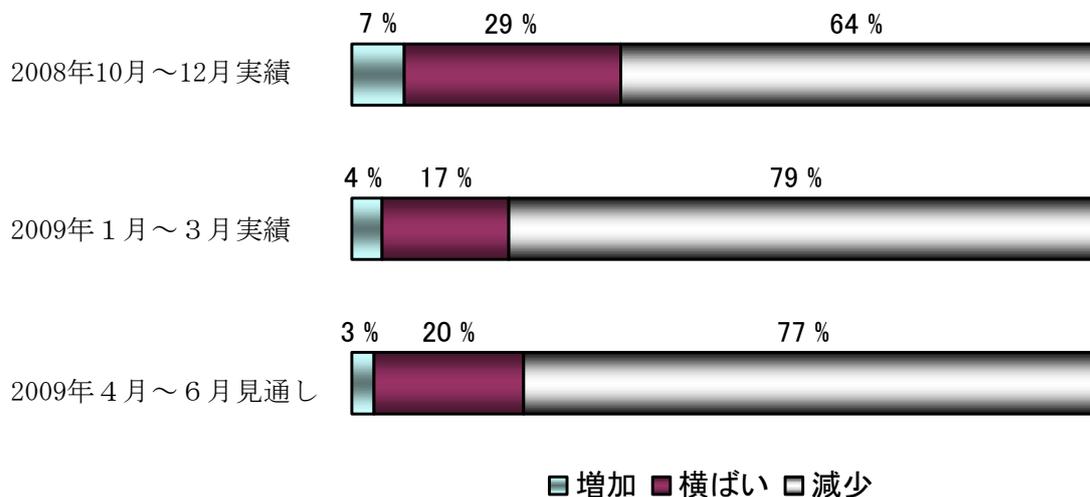
業 種		調査対象 企業数	回 答 企業数	回答率(%)
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	232	94	40.5
	繊 維 ・ 衣 服	111	52	46.8
	木 材 ・ 家 具	96	43	44.8
	パ ル プ ・ 紙	107	54	50.5
	化学・プラスチック	238	123	51.7
	窯 業 ・ 土 石	102	45	44.1
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	196	109	55.6
	金 属 製 品	128	61	47.7
	一 般 機 械	222	98	44.1
	電 気 機 械	333	132	39.6
	輸 送 用 機 械	250	88	35.2
	精 密 機 械	67	27	40.3
	そ の 他	167	55	32.9
計		2,249	981	43.6
卸 売 業	生 産 財	124	60	48.4
	消 費 財	127	52	40.9
	計	251	112	44.6
合 計		2,500	1,093	43.7

## Ⅱ. 調査の結果

### － 1. 国内向け出荷量の動向－

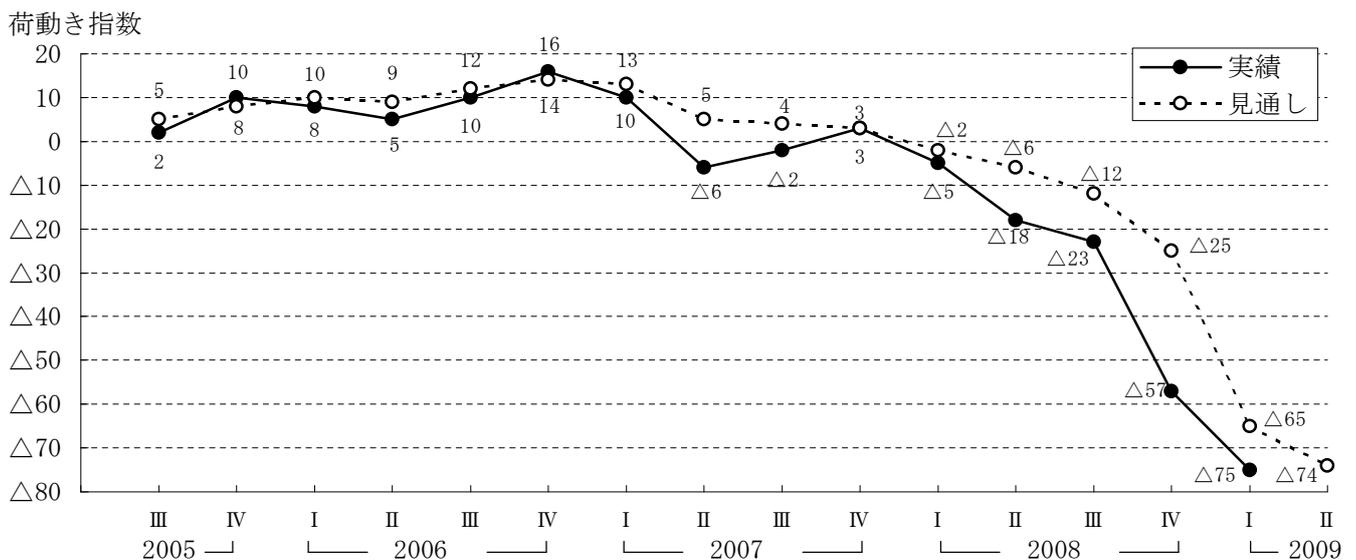
- 2009年1～3月実績（見込み）における国内向け出荷量の動向をみると、前年同期比で「増加」との回答が前期（2008年10～12月）実績より3ポイント低下し4%となった。一方、「減少」との回答は前期より15ポイント上昇し79%となり、この結果『荷動き指数』（＝「増加」の回答割合－「減少」の回答割合）は18ポイント低下して△75となった。
- 2009年4～6月見通しの出荷量については、前年同期比で「増加」との回答が前期（2009年1～3月）実績（見込み）より1ポイント低下し3%となり、「減少」との回答は2ポイント低下し77%になる。この結果『荷動き指数』は1ポイント上昇して△74と見込まれる。

国内向け出荷量の実績と見通し



■ 今回調査の『荷動き指数』を前回までの調査と比較すると、2008年10～12月実績では△57と、本調査開始以来初めて△50を割り込み、2009年1～3月実績(見込み)ではさらに低下して△75まで落ち込んだ。2009年4～6月見通しでも『荷動き指数』は△74と改善はみられず、かつてない勢いで荷動きの縮小が続く見込みである。

荷動きの見通しと実績(見込み)の『荷動き指数』



注) 点線は各期に入る前の時点の見通しにおける『荷動き指数』(2009年II期の『荷動き指数』は今回調査時点の見通し)、実線は各期の途中の時点で判断した実績見込みの『荷動き指数』(2009年I期の『荷動き指数』は今回調査における判断)。

■ 2009年1～3月の業種別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、すべての業種が2ケタのマイナスを示し、比較的必需性の高い食料品・飲料および消費財卸を除いて△60を超える大幅なマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』は△75で、前期（2008年10～12月）実績より18ポイント低下した。

■ 2009年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、業種によるバラツキはみられるが、業種全体では△74と強含み横ばいでの推移が見込まれる。このため、加速度的な荷動き減退の動きは緩和されるものの、依然として荷動き自体は急激な縮小が続く見通しである。

### 国内向け出荷量の実績と見通し（業種別）

業種	2009年1月～3月実績					2009年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	92	16	33	51	△ 35	91	13	45	42	△ 29
	繊維・衣服	52	6	19	75	△ 69	52	0	27	73	△ 73
	木材・家具	43	2	7	91	△ 89	43	2	2	96	△ 94
	パルプ・紙	53	0	4	96	△ 96	53	0	8	92	△ 92
	化学・プラスチック	120	1	15	84	△ 83	120	4	23	73	△ 69
	窯業・土石	44	0	14	86	△ 86	44	2	11	87	△ 85
	鉄鋼・非鉄	109	2	9	89	△ 87	108	2	10	88	△ 86
	金属製品	60	7	10	83	△ 76	59	7	8	85	△ 78
	一般機械	96	4	14	82	△ 78	95	0	14	86	△ 86
	電気機械	130	2	13	85	△ 83	130	1	12	87	△ 86
	輸送用機械	87	3	24	73	△ 70	87	0	28	72	△ 72
	精密機械	27	11	11	78	△ 67	26	7	31	62	△ 55
	その他	55	2	11	87	△ 85	55	5	9	86	△ 81
計	968	4	15	81	△ 77	963	3	18	79	△ 76	
卸 売 業	生産財	57	2	35	63	△ 61	57	2	37	61	△ 59
	消費財	52	8	40	52	△ 44	52	10	42	48	△ 38
	計	109	4	38	58	△ 54	109	6	39	55	△ 49
合計	1,077	4	17	79	△ 75	1,072	3	20	77	△ 74	

■ 2009年1～3月の地域別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、すべての地域が△50を超えるマイナスを示した。とりわけ近畿および北陸・信越地域では『荷動き指数』が△80を超え、他地域と比べて荷動きの減退圧力が大きい。

■ 2009年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、東北や関東地域などでは数ポイント改善する一方、北海道地域では11ポイントの悪化となるなど、地域による差異がみられるものの、引き続きすべての地域が△50を超えるマイナスを示し、各地域とも荷動きの縮小が続く見通しである。

### 国内向け出荷量の実績と見通し（地域別）

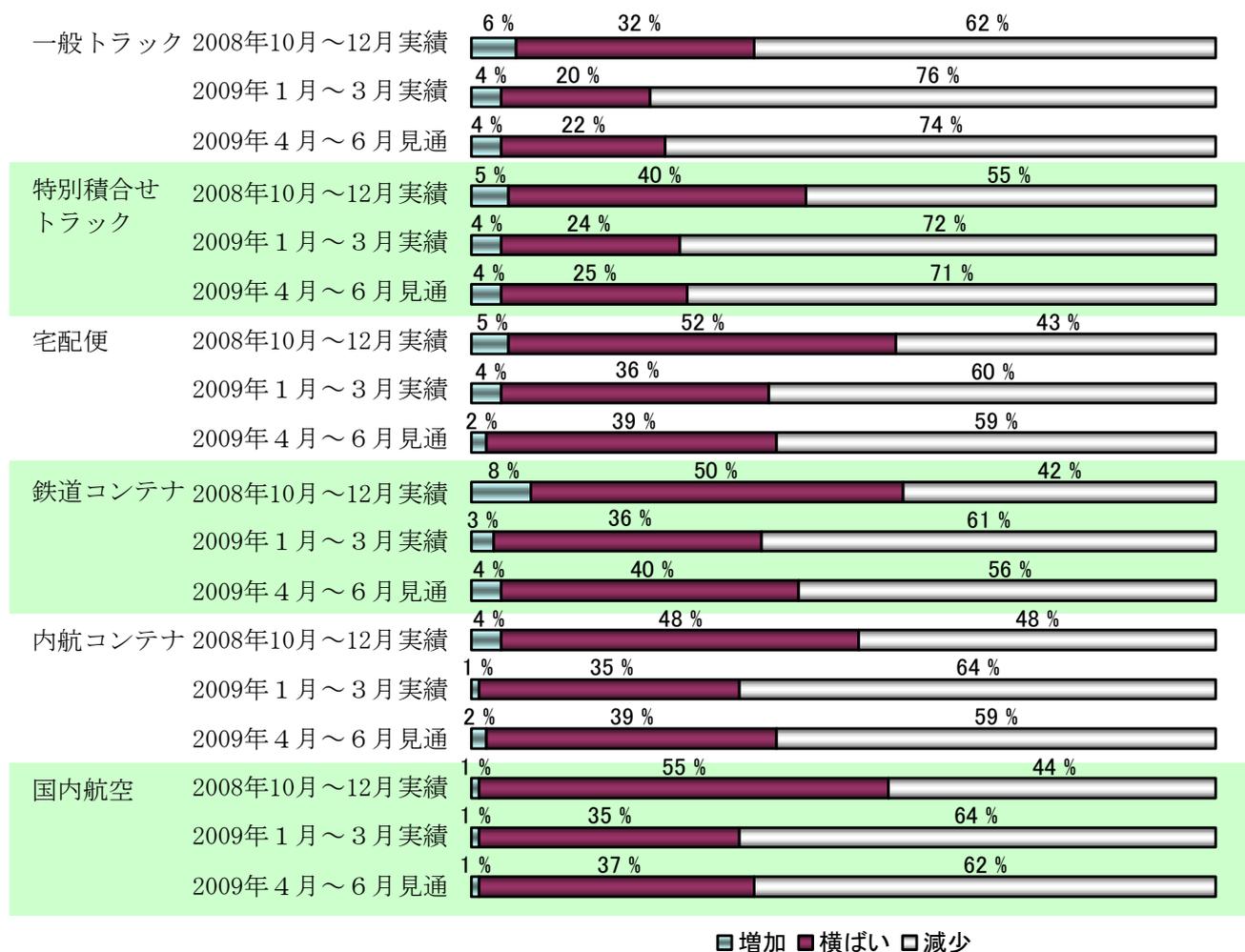
地 域	2009年1月～3月実績					2009年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
北 海 道	47	9	23	68	△ 59	46	2	26	72	△ 70
東 北	99	2	20	78	△ 76	99	3	23	74	△ 71
関 東	260	3	18	79	△ 76	259	3	24	73	△ 70
北 陸 ・ 信 越	113	3	12	85	△ 82	113	2	17	81	△ 79
東 海	159	5	12	83	△ 78	157	5	13	82	△ 77
近 畿	151	2	13	85	△ 83	150	1	16	83	△ 82
中 国	102	5	17	78	△ 73	102	2	23	75	△ 73
四 国	68	10	22	68	△ 58	68	7	26	67	△ 60
九 州 ・ 沖 縄	78	5	28	67	△ 62	78	6	22	72	△ 66
合 計	1,077	4	17	79	△ 75	1,072	3	20	77	△ 74

## － 2. 輸送機関利用の動向－

■ 2009年1～3月の輸送機関利用の実績（見込み）をみると、すべての輸送機関で『利用動向指数』が△50を超えるマイナスを示し、前期（2008年10～12月）実績と比べても、総じて20ポイント近い下落となった。

■ 2009年4～6月の見通しについては、鉄道コンテナおよび内航コンテナでそれぞれ6ポイントの上昇が見込まれるが、その他の輸送機関では小幅の変化にとどまろう。このため、依然として各輸送機関とも『利用動向指数』は△50超のマイナスを示し、厳しい利用削減が続く見通しである。

各輸送機関の利用の実績と見通し



## (1) 一般トラック

■ 2009年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、すべての業種がマイナスを示し、比較的必需性の高い食料品・飲料および消費財卸を除いて△50を超えるマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△72で、前期（2008年10～12月）実績からは16ポイント低下した。

■ 2009年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、化学・プラスチック、金属製品などでマイナス幅が縮小する一方、一般機械などでは『利用動向指数』がさらに悪化するなど、業種によるバラツキがみられるが、業種全体では△70と小幅の変化で推移しよう。この結果、一般トラックは他の国内輸送機関に比べて利用の削減圧力がもっとも大きい。

### 一般トラック利用の実績と見通し

業 種	2009年1月～3月実績					2009年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	91	14	41	45	△ 31	90	12	52	36	△ 24
	繊維・衣服	45	9	24	67	△ 58	44	5	25	70	△ 65
	木材・家具	42	0	10	90	△ 90	42	2	5	93	△ 91
	パルプ・紙	53	1	8	91	△ 90	53	0	17	83	△ 83
	化学・プラスチック	122	2	15	83	△ 81	119	5	23	72	△ 67
	窯業・土石	43	0	14	86	△ 86	43	2	12	86	△ 84
	鉄鋼・非鉄	105	2	9	89	△ 87	103	3	11	86	△ 83
	金属製品	58	5	10	85	△ 80	57	9	12	79	△ 70
	一般機械	91	4	18	78	△ 74	88	1	15	84	△ 83
	電気機械	122	2	15	83	△ 81	121	1	13	86	△ 85
	輸送用機械	86	3	23	74	△ 71	86	1	21	78	△ 77
精密機械	25	4	20	76	△ 72	25	0	36	64	△ 64	
その他	54	2	13	85	△ 83	54	4	15	81	△ 77	
計	937	4	17	79	△ 75	925	3	20	77	△ 74	
卸 売 業	生産財	51	0	41	59	△ 59	49	2	41	57	△ 55
	消費財	47	4	47	49	△ 45	47	6	51	43	△ 37
	計	98	2	44	54	△ 52	96	4	46	50	△ 46
合計	1,035	4	20	76	△ 72	1,021	4	22	74	△ 70	

## (2) 特別積合せトラック

■ 2009年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、すべての業種がマイナスを示し、一般トラック同様、食料品・飲料および消費財卸を除いて△50超のマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△68で、前期（2008年10～12月）実績からは18ポイントの悪化となった。

■ 2009年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、業種による若干のバラツキはあるものの、業種全体では大きな動意はみられず、『利用動向指数』は強含み横ばいでの推移が見込まれる。このため、特別積合せトラックは、一般トラックと並んで、大幅な利用の減退が続く見通しである。

### 特別積合せトラック利用の実績と見通し

業種	2009年1月～3月実績					2009年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	55	18	38	44	△26	55	18	47	35	△17
繊維・衣服	36	6	19	75	△69	35	0	31	69	△69
木材・家具	27	3	19	78	△75	27	4	15	81	△77
パルプ・紙	33	0	15	85	△85	33	0	15	85	△85
化学・プラスチック	97	0	19	81	△81	92	3	22	75	△72
窯業・土石	30	0	23	77	△77	30	0	27	73	△73
鉄鋼・非鉄	64	3	17	80	△77	63	3	17	80	△77
金属製品	46	2	22	76	△74	45	2	24	74	△72
一般機械	72	4	24	72	△68	70	1	23	76	△75
電気機械	102	2	18	80	△78	99	2	16	82	△80
輸送用機械	59	0	29	71	△71	58	0	26	74	△74
精密機械	13	8	23	69	△61	13	0	46	54	△54
その他	41	2	17	81	△79	41	5	15	80	△75
計	675	3	22	75	△72	661	3	23	74	△71
卸売業										
生産財	42	5	40	55	△50	40	2	43	55	△53
消費財	38	8	45	47	△39	37	11	43	46	△35
計	80	6	43	51	△45	77	6	43	51	△45
合計	755	4	24	72	△68	738	4	25	71	△67

### (3) 宅配便

■ 2009年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、すべての業種が2ケタのマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△56で、前期（2008年10～12月）実績からは18ポイントの低下となった。

■ 2009年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、パルプ・紙、化学・プラスチックなどでマイナス幅が縮小する一方、電気機械、生産財卸などではマイナス幅がさらに拡大するが、業種全体では弱含み横ばいで推移するとみられる。このため、宅配便は依然として利用の減退が続く見通しである。

#### 宅配便利用の実績と見通し

業 種	2009年1月～3月実績					2009年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	58	5	66	29	△ 24	57	4	68	28	△ 24
	繊維・衣服	39	5	41	54	△ 49	39	5	41	54	△ 49
	木材・家具	35	3	26	71	△ 68	35	3	26	71	△ 68
	パルプ・紙	28	0	36	64	△ 64	28	0	46	54	△ 54
	化学・プラスチック	98	4	37	59	△ 55	96	3	48	49	△ 46
	窯業・土石	29	3	24	73	△ 70	29	3	28	69	△ 66
	鉄鋼・非鉄	68	0	34	66	△ 66	67	0	34	66	△ 66
	金属製品	54	0	24	76	△ 76	52	0	27	73	△ 73
	一般機械	91	2	27	71	△ 69	89	0	31	69	△ 69
	電気機械	113	2	25	73	△ 71	113	1	20	79	△ 78
	輸送用機械	69	6	43	51	△ 45	69	4	45	51	△ 47
	精密機械	27	11	22	67	△ 56	27	7	37	56	△ 49
	その他	42	2	33	65	△ 63	42	2	31	67	△ 65
計	751	3	34	63	△ 60	743	2	37	61	△ 59	
卸 売 業	生産財	50	8	52	40	△ 32	49	2	55	43	△ 41
	消費財	34	9	59	32	△ 23	33	9	61	30	△ 21
	計	84	8	55	37	△ 29	82	5	57	38	△ 33
合 計	835	4	36	60	△ 56	825	2	39	59	△ 57	

#### (4) 鉄道コンテナ

■ 2009年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、すべての業種が2ケタのマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△58で、前期（2008年10～12月）実績からは24ポイントの低下となった。

■ 2009年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、木材・家具など一部の業種を除き、総じてマイナス幅は僅かながら縮小方向に動く。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△52と6ポイントの上昇が見込まれるものの、減退圧力の緩和にはなお遠く、利用の縮小が続く見通しである。

#### 鉄道コンテナ利用の実績と見通し

業 種	2009年1月～3月実績					2009年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	43	9	44	47	△ 38	43	12	53	35	△ 23
	繊維・衣服	13	8	46	46	△ 38	13	8	46	46	△ 38
	木材・家具	17	6	18	76	△ 70	17	0	18	82	△ 82
	パルプ・紙	30	0	40	60	△ 60	30	0	43	57	△ 57
	化学・プラスチック	85	1	29	70	△ 69	84	2	36	62	△ 60
	窯業・土石	17	6	41	53	△ 47	17	12	41	47	△ 35
	鉄鋼・非鉄	39	5	23	72	△ 67	37	3	27	70	△ 67
	金属製品	18	5	28	67	△ 62	18	11	28	61	△ 50
	一般機械	36	0	39	61	△ 61	34	3	41	56	△ 53
	電気機械	37	5	24	71	△ 66	36	3	28	69	△ 66
	輸送用機械	28	4	25	71	△ 67	27	4	26	70	△ 66
	精密機械	7	0	71	29	△ 29	7	0	71	29	△ 29
	その他	27	4	44	52	△ 48	27	0	48	52	△ 52
計	397	3	34	63	△ 60	390	4	37	59	△ 55	
卸 売 業	生産財	18	5	56	39	△ 34	16	12	63	25	△ 13
	消費財	18	0	67	33	△ 33	18	0	67	33	△ 33
	計	36	3	61	36	△ 33	34	6	65	29	△ 23
合 計	433	3	36	61	△ 58	424	4	40	56	△ 52	

(5) 内航コンテナ

■ 2009年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、すべての業種が2ケタのマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△63で、前期（2008年10～12月）実績からは19ポイント下降した。

■ 2009年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、過半数の業種で僅かながらマイナス幅が縮小し、業種全体の『利用動向指数』は△57と6ポイントの改善が見込まれる。しかしながら、鉄道コンテナ同様、利用回復にはなお遠く、荷動きは減退が続く見通しである。

内航コンテナ利用の実績と見通し

業 種	2009年1月～3月実績					2009年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	24	4	63	33	△ 29	24	4	67	29	△ 25
	繊維・衣服	8	0	63	37	△ 37	8	0	75	25	△ 25
	木材・家具	12	0	25	75	△ 75	12	0	25	75	△ 75
	パルプ・紙	22	5	27	68	△ 63	22	4	32	64	△ 60
	化学・プラスチック	57	0	35	65	△ 65	57	2	42	56	△ 54
	窯業・土石	15	0	33	67	△ 67	15	0	33	67	△ 67
	鉄鋼・非鉄	24	0	25	75	△ 75	23	0	22	78	△ 78
	金属製品	19	5	26	69	△ 64	19	5	32	63	△ 58
	一般機械	32	0	28	72	△ 72	30	0	33	67	△ 67
	電気機械	29	7	24	69	△ 62	29	3	31	66	△ 63
	輸送用機械	23	0	30	70	△ 70	23	0	26	74	△ 74
精密機械	7	0	43	57	△ 57	7	0	57	43	△ 43	
その他	22	0	36	64	△ 64	22	0	36	64	△ 64	
計	294	1	34	65	△ 64	291	2	37	61	△ 59	
卸 売 業	生産財	13	0	46	54	△ 54	12	8	50	42	△ 34
	消費財	15	0	47	53	△ 53	15	0	53	47	△ 47
	計	28	0	46	54	△ 54	27	4	52	44	△ 40
合計	322	1	35	64	△ 63	318	2	39	59	△ 57	

## (6) 国内航空

■ 2009年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、すべての業種がマイナスで、食料品・飲料を除いて△40を超えるマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△63で、前期（2008年10～12月）実績からは20ポイント下降した。

■ 2009年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、精密機械など改善が窺える業種がある一方、電気機械、生産財卸などではマイナス幅がさらに拡大するなど、業種によるバラツキがみられるが、全体の『利用動向指数』は△61と、小幅の変化にとどまろう。この結果、他の輸送機関同様、荷動きの減退が続く見込みである。

### 国内航空利用の実績と見通し

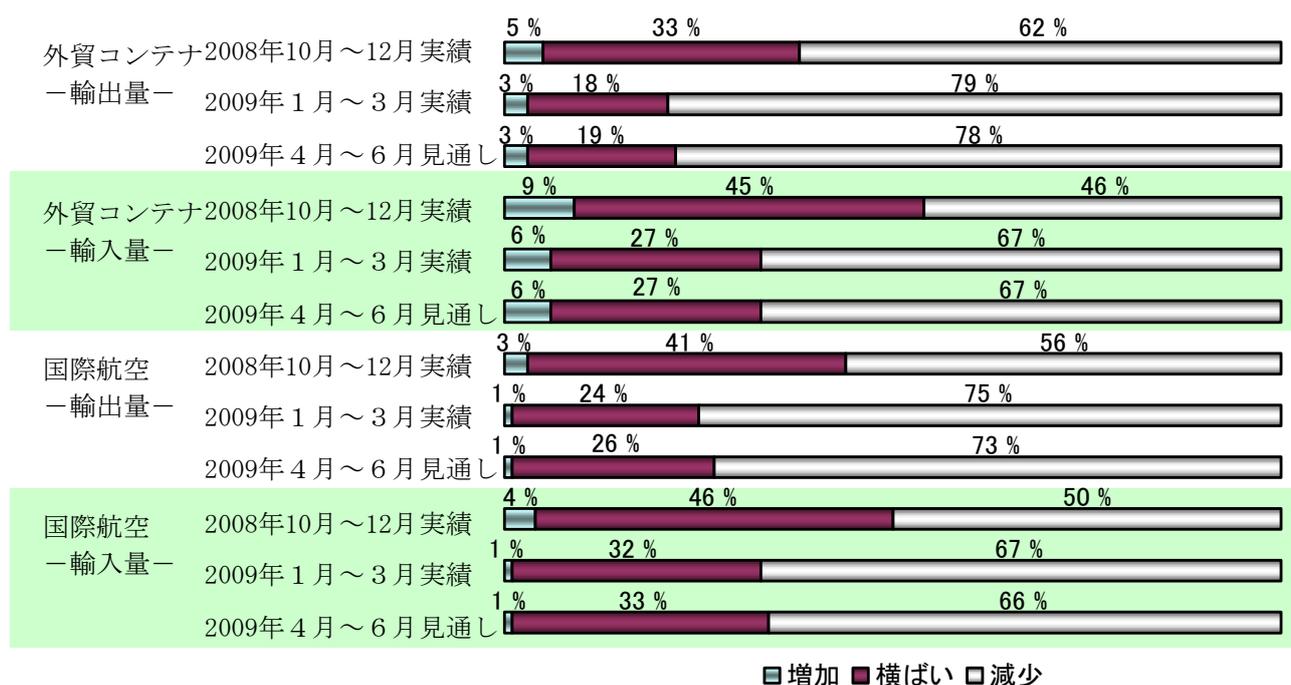
業種	2009年1月～3月実績					2009年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	22	0	77	23	△ 23	22	0	73	27	△ 27
	繊維・衣服	10	0	40	60	△ 60	10	0	40	60	△ 60
	木材・家具	9	0	33	67	△ 67	9	0	33	67	△ 67
	パルプ・紙	6	0	17	83	△ 83	6	0	33	67	△ 67
	化学・プラスチック	38	0	45	55	△ 55	38	0	50	50	△ 50
	窯業・土石	14	0	29	71	△ 71	14	0	29	71	△ 71
	鉄鋼・非鉄	29	0	28	72	△ 72	28	0	29	71	△ 71
	金属製品	15	0	20	80	△ 80	15	0	27	73	△ 73
	一般機械	47	0	26	74	△ 74	45	0	29	71	△ 71
	電気機械	65	2	18	80	△ 78	64	0	17	83	△ 83
	輸送用機械	27	4	44	52	△ 48	27	4	44	52	△ 48
	精密機械	12	17	25	58	△ 41	12	17	50	33	△ 16
	その他	21	0	48	52	△ 52	21	0	43	57	△ 57
計	315	1	34	65	△ 64	311	1	36	63	△ 62	
卸売業	生産財	20	5	45	50	△ 45	20	0	50	50	△ 50
	消費財	14	0	43	57	△ 57	14	0	43	57	△ 57
	計	34	3	44	53	△ 50	34	0	47	53	△ 53
合計	349	1	35	64	△ 63	345	1	37	62	△ 61	

### － 3. 輸出入貨物量の動向－

■ 2009年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』をみると、外貿コンテナ、国際航空ともに、輸出で△70、輸入でも△60を超える大幅なマイナスを示した。前期（2008年10～12月）実績からは、いずれの『荷動き指数』も20ポイント程度の悪化となった。

■ 2009年4～6月の見通しについては、いずれの『荷動き指数』にも大きな動意はみられず、小幅の変化で推移しよう。このため、外貿コンテナ、国際航空の輸出入ともに、厳しい荷動き減退の局面が続く見通しである。

輸出入貨物量の実績と見通し



(1) 外貿コンテナ ー輸出ー

■ 2009年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』は、すべての業種がマイナスで、木材・家具が△33を示す以外は、マイナス幅が軒並み△50以上となった。業種全体の『荷動き指数』は△76で、前期（2008年10～12月）実績より19ポイント下落した。

■ 2009年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、消費財卸でやや改善が見込まれる以外は大きな動意はなく、業種全体の『荷動き指数』は強含み横ばいで推移しよう。この結果、外貿コンテナの輸出は、国際・国内の全輸送機関のなかでもっとも減退圧力が大きいものとみられる。

外貿コンテナによる輸出量の実績と見通し

業種	2009年1月～3月実績					2009年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	10	0	40	60	△60	10	0	40	60	△60
	繊維・衣服	11	0	36	64	△64	11	0	36	64	△64
	木材・家具	6	17	33	50	△33	6	17	17	66	△49
	パルプ・紙	19	5	16	79	△74	19	0	16	84	△84
	化学・プラスチック	64	4	8	88	△84	63	3	17	80	△77
	窯業・土石	22	0	5	95	△95	22	0	9	91	△91
	鉄鋼・非鉄	45	4	11	85	△81	44	6	14	80	△74
	金属製品	16	0	19	81	△81	16	6	13	81	△75
	一般機械	64	4	19	77	△73	62	3	21	76	△73
	電気機械	59	2	22	76	△74	59	2	17	81	△79
	輸送用機械	45	0	16	84	△84	45	0	18	82	△82
	精密機械	19	5	21	74	△69	19	5	32	63	△58
その他	25	4	16	80	△76	25	8	4	88	△80	
計	405	3	17	80	△77	401	3	18	79	△76	
卸売業	生産財	11	9	27	64	△55	11	0	36	64	△64
	消費財	12	0	50	50	△50	12	16	42	42	△26
	計	23	4	39	57	△53	23	9	39	52	△43
合計	428	3	18	79	△76	424	3	19	78	△75	

(2) 外貿コンテナ - 輸入 -

■ 2009年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』は、すべての業種がマイナスを示し、過半数の業種で△60を超えるマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』は△61で、前期（2008年10～12月）実績より24ポイント下落した。

■ 2009年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、化学・プラスチックなどではマイナス幅の縮小が見込まれるものの、木材・家具などでは『荷動き指数』はさらに悪化する。業種全体の『荷動き指数』は横ばいで推移する見通しで、厳しい荷動きの減退が続くとみられる。

外貿コンテナによる輸入量の実績と見通し

業種	2009年1月～3月実績					2009年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	16	18	44	38	△ 20	16	18	44	38	△ 20
	繊維・衣服	15	13	33	54	△ 41	15	13	27	60	△ 47
	木材・家具	12	17	33	50	△ 33	12	17	17	66	△ 49
	パルプ・紙	13	23	31	46	△ 23	13	24	38	38	△ 14
	化学・プラスチック	55	4	16	80	△ 76	54	6	24	70	△ 64
	窯業・土石	20	0	20	80	△ 80	20	5	20	75	△ 70
	鉄鋼・非鉄	32	3	16	81	△ 78	31	0	16	84	△ 84
	金属製品	17	0	29	71	△ 71	17	0	29	71	△ 71
	一般機械	58	9	22	69	△ 60	56	7	27	66	△ 59
	電気機械	60	8	22	70	△ 62	60	6	17	77	△ 71
輸送用機械	44	2	32	66	△ 64	44	4	30	66	△ 62	
精密機械	19	5	16	79	△ 74	19	5	26	69	△ 64	
その他	23	0	35	65	△ 65	22	0	27	73	△ 73	
計	384	7	24	69	△ 62	379	6	25	69	△ 63	
卸売業	生産財	13	15	38	47	△ 32	13	15	38	47	△ 32
	消費財	17	0	65	35	△ 35	17	0	65	35	△ 35
	計	30	7	53	40	△ 33	30	7	53	40	△ 33
合計	414	6	27	67	△ 61	409	6	27	67	△ 61	

(3) 国際航空 —輸出—

■ 2009年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』は、回答社数の少ない食料品・飲料を除けばすべての業種がマイナスで、木材・家具が△40を示す以外は、いずれも△50を超える大幅なマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』は△74で、前期（2008年10～12月）実績からは21ポイントの下落となった。

■ 2009年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、総じて大きな動意はみられず、業種全体の『荷動き指数』は△72と小幅の変動にとどまろう。この結果、国際航空の輸出は、外貿コンテナの輸出と並んで、荷動きの減退圧力が大きいものと見込まれる。

国際航空による輸出量の実績と見通し

業種	2009年1月～3月実績					2009年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	1	0	100	0	0	1	0	100	0	0
	繊維・衣服	8	0	25	75	△75	8	0	25	75	△75
	木材・家具	5	0	60	40	△40	5	0	40	60	△60
	パルプ・紙	1	0	0	100	△100	1	0	0	100	△100
	化学・プラスチック	30	0	33	67	△67	30	0	40	60	△60
	窯業・土石	13	0	15	85	△85	13	0	15	85	△85
	鉄鋼・非鉄	26	0	27	73	△73	25	0	28	72	△72
	金属製品	16	0	6	94	△94	16	0	6	94	△94
	一般機械	64	0	22	78	△78	62	0	23	77	△77
	電気機械	67	3	16	81	△78	67	1	21	78	△77
	輸送用機械	35	0	37	63	△63	35	0	43	57	△57
	精密機械	22	5	18	77	△72	22	5	18	77	△72
	その他	18	0	17	83	△83	18	0	11	89	△89
計	306	1	23	76	△75	303	1	25	74	△73	
卸売業	生産財	10	0	40	60	△60	10	0	50	50	△50
	消費財	10	0	40	60	△60	10	0	50	50	△50
	計	20	0	40	60	△60	20	0	50	50	△50
合計	326	1	24	75	△74	323	1	26	73	△72	

(4) 国際航空 — 輸入 —

■ 2009年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』は、すべての業種がマイナスを示し、過半数の業種で△50を超えるマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』は△66で、前期(2008年10～12月)実績からは20ポイント下降した。

■ 2009年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、回答社数の少ないパルプ・紙を除けば、引き続きすべての業種がマイナスで、大きな変化はみられない。業種全体の『荷動き指数』は強含み横ばいで推移する見通しで、荷動きの減退が続くとみられる。

国際航空による輸入量の実績と見通し

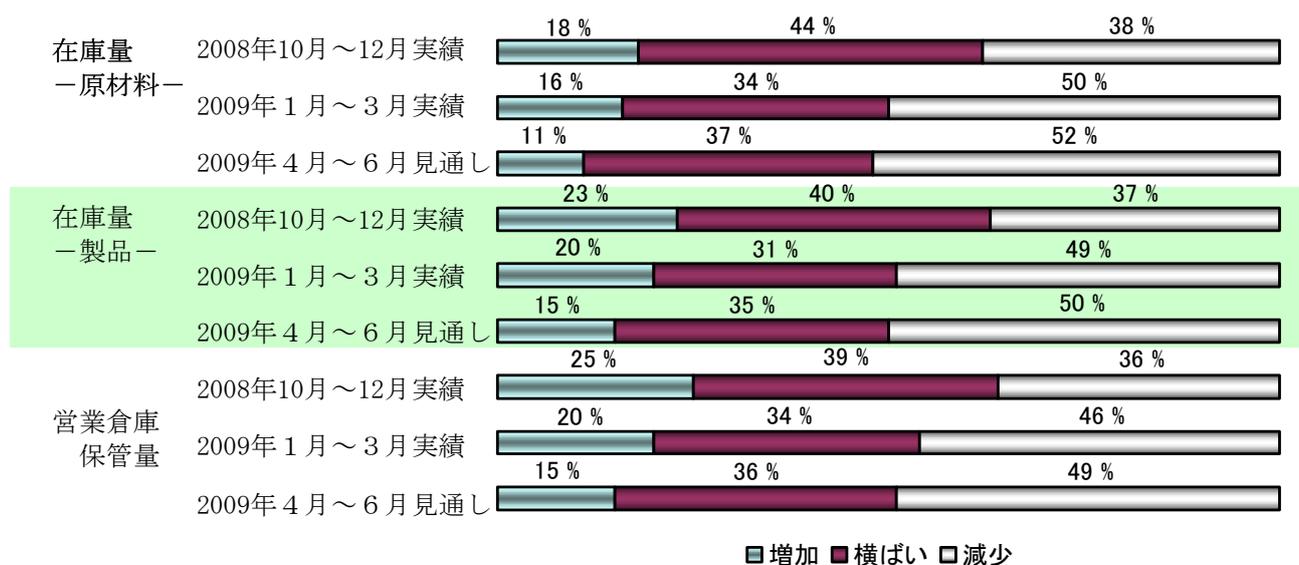
業種	2009年1月～3月実績					2009年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	1	0	0	100	△ 100	1	0	0	100	△ 100
繊維・衣服	8	0	50	50	△ 50	8	0	50	50	△ 50
木材・家具	5	0	60	40	△ 40	5	0	40	60	△ 60
パルプ・紙	1	0	0	100	△ 100	1	0	100	0	0
化学・プラスチック	24	0	50	50	△ 50	24	0	54	46	△ 46
窯業・土石	6	0	33	67	△ 67	6	0	50	50	△ 50
鉄鋼・非鉄	20	5	30	65	△ 60	19	5	32	63	△ 58
金属製品	12	0	25	75	△ 75	12	0	8	92	△ 92
一般機械	52	0	23	77	△ 77	49	0	20	80	△ 80
電気機械	59	3	24	73	△ 70	59	1	24	75	△ 74
輸送用機械	35	0	34	66	△ 66	35	0	37	63	△ 63
精密機械	22	9	14	77	△ 68	22	9	18	73	△ 64
その他	19	0	37	63	△ 63	19	0	37	63	△ 63
計	264	1	30	69	△ 68	260	2	30	68	△ 66
卸売業										
生産財	9	0	56	44	△ 44	9	0	56	44	△ 44
消費財	11	0	64	36	△ 36	11	0	73	27	△ 27
計	20	0	60	40	△ 40	20	0	65	35	△ 35
合計	284	1	32	67	△ 66	280	1	33	66	△ 65

#### － 4. 在庫量と営業倉庫利用の動向－

■ 2009年1～3月実績（見込み）の在庫量と営業倉庫利用の動向をみると、原材料在庫、製品在庫、営業倉庫利用のいずれも、『動向指数』は△20を超えるマイナスを示した。前期（2008年10～12月）実績との比較では、いずれも15ポイント程度マイナス幅が拡大した。

■ 2009年4～6月の見通しでは、原材料在庫、製品在庫、営業倉庫利用とも『動向指数』はいつもの悪化が見込まれる。このため、在庫圧縮および営業倉庫利用の削減がさらに進む見通しである。

在庫量と営業倉庫保管量の実績と見通し



(1) 在庫量 —原材料—

■ 2009年1～3月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、生産財卸が唯一プラス、食料品・飲料が1ケタのマイナスにとどまる以外は、残りすべての業種が2ケタのマイナスを示した。業種全体の『在庫動向指数』は△34で、前期（2008年10～12月）実績より14ポイントの低下となった。

■ 2009年10～12月の『在庫動向指数』見通しでは、生産財卸もマイナスに反転し、すべての業種がマイナスを示す。業種全体の『在庫動向指数』は△41と、さらに7ポイント悪化する見込みで、原材料在庫はいつその圧縮が進むとみられる。

在庫量（原材料）の実績と見通し

業種	2009年1月～3月実績					2009年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	81	19	53	28	△ 9	80	14	63	23	△ 9
	繊維・衣服	42	17	40	43	△ 26	42	4	48	48	△ 44
	木材・家具	39	10	36	54	△ 44	39	2	36	62	△ 60
	パルプ・紙	47	30	30	40	△ 10	47	19	43	38	△ 19
	化学・プラスチック	117	17	36	47	△ 30	116	14	41	45	△ 31
	窯業・土石	35	20	37	43	△ 23	35	17	43	40	△ 23
	鉄鋼・非鉄	101	22	25	53	△ 31	100	16	31	53	△ 37
	金属製品	54	3	30	67	△ 64	54	4	22	74	△ 70
	一般機械	92	15	26	59	△ 44	89	12	22	66	△ 54
	電気機械	109	11	28	61	△ 50	108	5	27	68	△ 63
	輸送用機械	77	9	29	62	△ 53	77	10	26	64	△ 54
	精密機械	24	25	33	42	△ 17	24	21	50	29	△ 8
	その他	50	6	34	60	△ 54	50	4	28	68	△ 64
計	868	15	33	52	△ 37	861	11	35	54	△ 43	
卸売業	生産財	32	28	47	25	3	32	16	56	28	△ 12
	消費財	29	7	55	38	△ 31	29	10	69	21	△ 11
	計	61	18	51	31	△ 13	61	13	62	25	△ 12
合計	929	16	34	50	△ 34	922	11	37	52	△ 41	

(2) 在庫量 —製品—

■ 2009年1～3月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、すべての業種が2ケタのマイナスを示した。業種全体の『在庫動向指数』は△29で、前期（2008年10～12月）実績からは15ポイントの悪化となった。

■ 2009年4～6月の『在庫動向指数』見通しでは、食料品・飲料が1ケタのマイナスに戻すものの、過半数の業種でマイナス幅が拡大する。このため、業種全体の『在庫動向指数』は△35と、さらに6ポイント悪化する見込みで、製品在庫は圧縮圧力が強まる見通しである。

在庫量（製品）の実績と見通し

業 種	2009年1月～3月実績					2009年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	78	16	58	26	△10	77	13	66	21	△8
繊維・衣服	45	26	38	36	△10	45	22	38	40	△18
木材・家具	42	24	31	45	△21	42	14	38	48	△34
パルプ・紙	50	22	22	56	△34	50	18	36	46	△28
化学・プラスチック	119	27	32	41	△14	118	19	36	45	△26
窯業・土石	41	29	24	47	△18	41	27	27	46	△19
鉄鋼・非鉄	104	20	21	59	△39	103	19	23	58	△39
金属製品	56	9	30	61	△52	56	5	27	68	△63
一般機械	93	27	21	52	△25	91	21	20	59	△38
電気機械	115	19	20	61	△42	114	7	30	63	△56
輸送用機械	81	13	30	57	△44	81	10	32	58	△48
精密機械	24	25	29	46	△21	24	20	38	42	△22
その他	51	22	25	53	△31	51	16	29	55	△39
計	899	21	29	50	△29	893	16	33	51	△35
卸売業										
生産財	50	14	56	30	△16	50	10	52	38	△28
消費財	41	10	51	39	△29	41	15	46	39	△24
計	91	12	54	34	△22	91	12	50	38	△26
合計	990	20	31	49	△29	984	15	35	50	△35

### (3) 営業倉庫保管量

■ 2009年1～3月実績（見込み）の『保管動向指数』は、窯業・土石が唯一プラスを示す以外は、残りすべての業種が2ケタのマイナスとなった。業種全体の『保管動向指数』は△26で、前期（2008年10～12月）実績からは15ポイント低下した。

■ 2009年4～6月の『保管動向指数』見通しでは、窯業・土石もマイナスに反転し、すべての業種がマイナスを示す。食料品・飲料など一部に改善が窺える業種があるものの、大半の業種ではマイナス幅が拡大しよう。業種全体の『保管動向指数』は△34と8ポイント低下する見込みで、営業倉庫保管量はいつもの圧縮が進むとみられる。

#### 営業倉庫保管量の実績と見通し

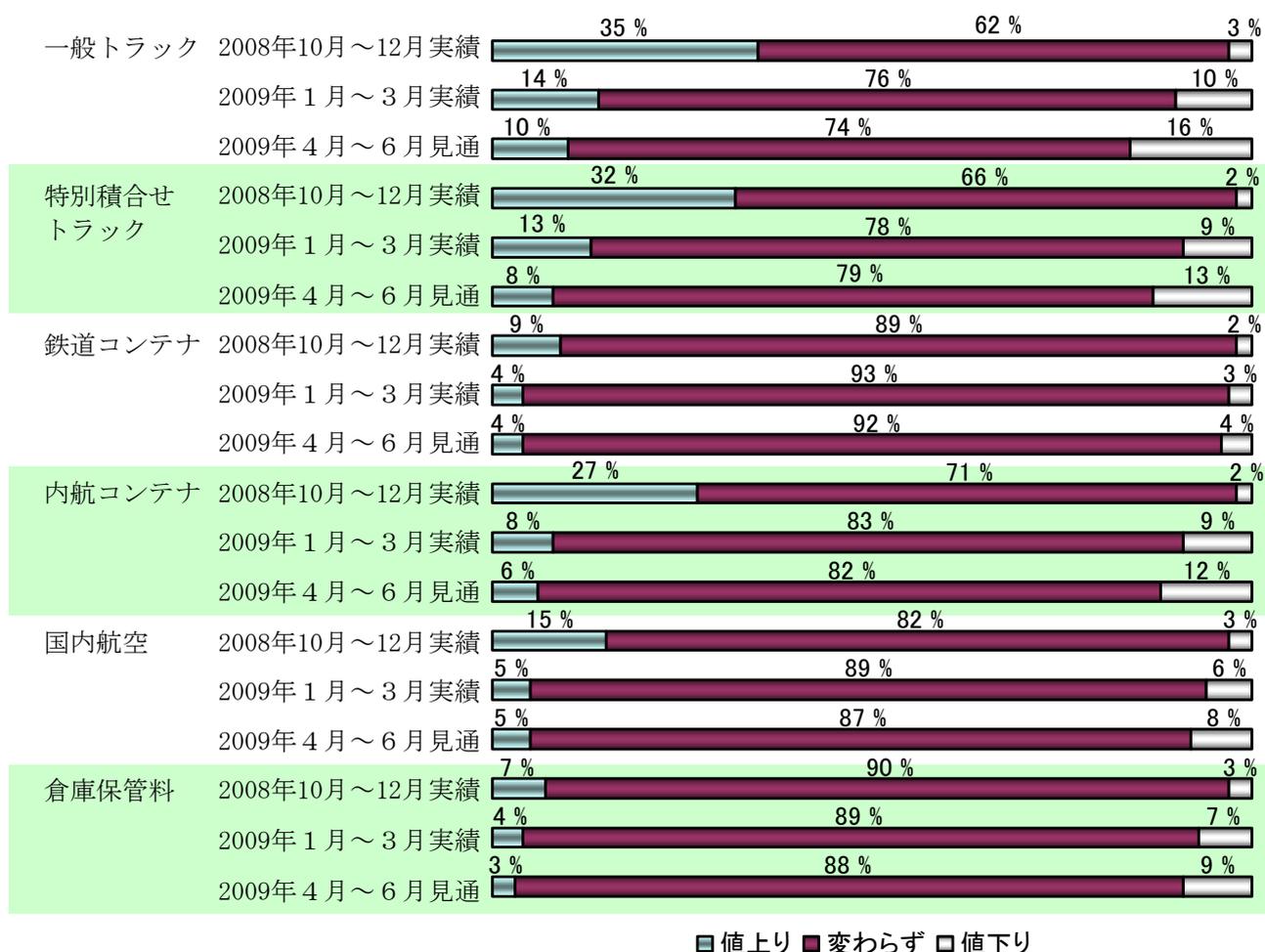
業種	2009年1月～3月実績					2009年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	66	18	52	30	△12	66	20	53	27	△7
	繊維・衣服	27	30	30	40	△10	27	18	41	41	△23
	木材・家具	31	13	32	55	△42	31	10	35	55	△45
	パルプ・紙	39	26	23	51	△25	39	18	38	44	△26
	化学・プラスチック	95	23	38	39	△16	95	17	38	45	△28
	窯業・土石	24	33	38	29	4	24	29	33	38	△9
	鉄鋼・非鉄	62	13	31	56	△43	61	11	33	56	△45
	金属製品	33	15	24	61	△46	33	9	30	61	△52
	一般機械	71	24	24	52	△28	69	16	23	61	△45
	電気機械	81	16	28	56	△40	81	10	28	62	△52
	輸送用機械	44	16	25	59	△43	44	14	20	66	△52
精密機械	22	27	27	46	△19	22	23	36	41	△18	
その他	39	18	36	46	△28	39	10	36	54	△44	
計	634	20	32	48	△28	631	15	34	51	△36	
卸売業	生産財	44	20	50	30	△10	44	16	48	36	△20
	消費財	33	9	52	39	△30	33	9	52	39	△30
	計	77	15	51	34	△19	77	13	49	38	△25
合計	711	20	34	46	△26	708	15	36	49	△34	

## － 5. 運賃・料金の動向－

■ 2009年1～3月の運賃・料金水準『動向指数』実績（見込み）は、一般トラック、特別積合せトラック、鉄道コンテナでかろうじてプラスを維持する一方、内航コンテナ、国内航空、倉庫保管料では小幅ながらマイナスに転じる結果となった。前期（2008年10～12月）実績との比較では、全機関で『動向指数』が低下した。

■ 2009年4～6月の『動向指数』見通しについては、鉄道コンテナでゼロ水準にとどまる以外は、残りすべての機関で『動向指数』がマイナスを示す。このため、鉄道コンテナを除き、運賃水準は下降する見通しである。

運賃・料金の実績と見通し



## (1) 一般トラック運賃

■ 2009年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、木材・家具など5業種がマイナス、金属製品がゼロ水準で、残り9業種がプラスを示した。業種全体の『運賃動向指数』はプラス4で、前期(2008年10～12月)実績より28ポイント低下した。

■ 2009年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、すべての業種で『運賃動向指数』が低下し、プラス業種は消費財卸、輸送用機械、食料品・飲料の3業種となり、繊維・衣服および生産財卸がゼロ水準のほかは、残り10業種がマイナスを示す。業種全体の『運賃動向指数』は△6と10ポイント低下し、運賃水準は下降へと転じる見通しである。

### 一般トラック運賃の実績と見通し

業 種	2009年1月～3月実績					2009年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製 造 業	食料品・飲料	90	21	71	8	13	89	12	77	11	1
	繊維・衣服	44	11	84	5	6	44	7	86	7	0
	木材・家具	41	12	66	22	△10	39	7	67	26	△19
	パルプ・紙	53	8	79	13	△5	53	5	74	21	△16
	化学・プラスチック	121	16	72	12	4	118	9	71	20	△11
	窯業・土石	42	10	76	14	△4	42	7	69	24	△17
	鉄鋼・非鉄	105	20	63	17	3	103	14	64	22	△8
	金属製品	59	10	80	10	0	57	7	75	18	△11
	一般機械	89	11	82	7	4	89	5	80	15	△10
	電気機械	122	11	80	9	2	120	11	76	13	△2
	輸送用機械	79	16	75	9	7	79	15	72	13	2
精密機械	25	8	76	16	△8	24	4	79	17	△13	
その他	52	7	81	12	△5	52	4	79	17	△13	
計	922	14	75	11	3	909	9	74	17	△8	
卸 売 業	生産財	52	13	81	6	7	52	10	80	10	0
	消費財	45	22	78	0	22	45	20	71	9	11
	計	97	18	79	3	15	97	14	77	9	5
合計	1,019	14	76	10	4	1,006	10	74	16	△6	

## (2) 特別積合せトラック運賃

- 2009年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、木材・家具、パルプ・紙など4業種がマイナス、窯業・土石など4業種がゼロ水準で、残り7業種がプラスを示した。業種全体の『運賃動向指数』はプラス4で、前期（2008年10～12月）実績からは26ポイントの低下となった。
- 2009年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、食料品・飲料など5業種がマイナスに沈み、全15業種中9業種がマイナスとなる。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は9ポイント低下して△5となり、一般トラック同様、運賃水準は下降に転じる見通しである。

### 特別積合せトラック運賃の実績と見通し

業種	2009年1月～3月実績					2009年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	54	19	78	3	16	53	8	79	13	△5
	繊維・衣服	38	13	87	0	13	38	8	92	0	8
	木材・家具	26	12	73	15	△3	25	8	76	16	△8
	パルプ・紙	31	13	71	16	△3	30	7	70	23	△16
	化学・プラスチック	96	16	73	11	5	94	7	75	18	△11
	窯業・土石	28	11	78	11	0	28	11	78	11	0
	鉄鋼・非鉄	63	17	66	17	0	60	12	70	18	△6
	金属製品	47	13	74	13	0	46	7	78	15	△8
	一般機械	72	4	90	6	△2	71	1	88	11	△10
	電気機械	100	10	83	7	3	99	9	82	9	0
	輸送用機械	58	17	73	10	7	58	17	71	12	5
	精密機械	14	7	86	7	0	14	7	86	7	0
	その他	41	10	78	12	△2	41	5	80	15	△10
計	668	13	78	9	4	657	8	79	13	△5	
卸売業	生産財	41	7	88	5	2	41	5	85	10	△5
	消費財	37	22	76	2	20	37	16	76	8	8
	計	78	14	82	4	10	78	10	81	9	1
合計	746	13	78	9	4	735	8	79	13	△5	

### (3) 鉄道コンテナ運賃

■ 2009年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、精密機械など5業種がマイナス、パルプ・紙など4業種がゼロ水準で、木材・家具など6業種がプラスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス1で、前期（2008年10～12月）実績より6ポイント低下した。

■ 2009年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、パルプ・紙および電気機械がプラスに上昇し、繊維・衣服もゼロ水準まで戻す一方、食料品・飲料および一般機械がマイナスに沈むなど、業種によるバラツキがみられ、業種全体の『運賃動向指数』はゼロ水準と弱含み横ばいでの推移が見込まれる。このため、運賃水準は現状維持となろう。

#### 鉄道コンテナ運賃の実績と見通し

業 種	2009年1月～3月実績					2009年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製 造 業	食料品・飲料	42	7	93	0	7	41	2	91	7	△5
	繊維・衣服	15	0	93	7	△7	15	0	100	0	0
	木材・家具	16	12	88	0	12	15	13	87	0	13
	パルプ・紙	32	6	88	6	0	32	13	78	9	4
	化学・プラスチック	81	5	94	1	4	80	3	94	3	0
	窯業・土石	17	12	82	6	6	17	12	82	6	6
	鉄鋼・非鉄	37	3	86	11	△8	35	2	89	9	△7
	金属製品	18	0	94	6	△6	18	0	94	6	△6
	一般機械	36	3	94	3	0	36	0	94	6	△6
	電気機械	40	0	100	0	0	40	2	98	0	2
	輸送用機械	26	12	88	0	12	26	8	88	4	4
精密機械	7	0	86	14	△14	7	0	86	14	△14	
その他	24	0	100	0	0	24	0	100	0	0	
計	391	5	92	3	2	386	4	92	4	0	
卸 売 業	生産財	16	0	94	6	△6	16	0	94	6	△6
	消費財	18	6	94	0	6	18	6	94	0	6
	計	34	3	94	3	0	34	3	94	3	0
合計	425	4	93	3	1	420	4	92	4	0	

#### (4) 内航コンテナ運賃

■ 2009年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、窯業・土石など5業種がプラス、繊維・衣服および一般機械がゼロ水準で、残り8業種がマイナスを示した。業種全体の『運賃動向指数』は△1で、前期（2008年10～12月）実績より26ポイント低下した。

■ 2009年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、化学・プラスチックおよび一般機械がマイナスに沈み、消費財卸もゼロ水準まで下降する。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は5ポイント下降して△6と見込まれ、運賃水準は低下する見通しである。

#### 内航コンテナ運賃の実績と見通し

業 種	2009年1月～3月実績					2009年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製 造 業	食料品・飲料	20	5	85	10	△5	20	0	85	15	△15
	繊維・衣服	6	0	100	0	0	6	0	100	0	0
	木材・家具	10	10	70	20	△10	10	10	70	20	△10
	パルプ・紙	19	21	68	11	10	19	16	74	10	6
	化学・プラスチック	55	11	82	7	4	55	9	80	11	△2
	窯業・土石	14	21	72	7	14	14	14	79	7	7
	鉄鋼・非鉄	22	4	73	23	△19	21	0	71	29	△29
	金属製品	16	0	94	6	△6	16	0	94	6	△6
	一般機械	30	3	94	3	0	30	0	90	10	△10
	電気機械	28	4	89	7	△3	28	3	86	11	△8
	輸送用機械	18	22	67	11	11	18	22	61	17	5
	精密機械	6	0	83	17	△17	6	0	83	17	△17
その他	23	0	91	9	△9	23	0	91	9	△9	
計	267	8	83	9	△1	266	6	82	12	△6	
卸 売 業	生産財	10	0	90	10	△10	10	0	90	10	△10
	消費財	11	9	91	0	9	11	9	82	9	0
	計	21	5	90	5	0	21	4	86	10	△6
合計	288	8	83	9	△1	287	6	82	12	△6	

## (5) 国内航空運賃

■ 2009年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、鉄鋼・非鉄、化学・プラスチック、一般機械の3業種がマイナス、繊維・衣服など6業種がゼロ水準で、木材・家具など6業種がプラスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は△1で、前期（2008年10～12月）実績より13ポイント下降した。

■ 2009年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、窯業・土石など4業種がマイナスに沈むことなどにより、業種全体の『運賃動向指数』は小幅ながらさらに低下して△3と見込まれる。この結果、運賃水準は下降の見通しである。

### 国内航空運賃の実績と見通し

業種	2009年1月～3月実績					2009年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	21	5	95	0	5	22	9	86	5	4
	繊維・衣服	8	0	100	0	0	8	0	100	0	0
	木材・家具	7	14	86	0	14	7	14	86	0	14
	パルプ・紙	5	0	100	0	0	5	0	100	0	0
	化学・プラスチック	35	0	89	11	△11	35	3	86	11	△8
	窯業・土石	12	8	84	8	0	12	8	75	17	△9
	鉄鋼・非鉄	26	0	77	23	△23	25	0	76	24	△24
	金属製品	12	17	75	8	9	12	0	92	8	△8
	一般機械	53	3	91	6	△3	53	4	87	9	△5
	電気機械	63	6	89	5	1	63	10	86	4	6
	輸送用機械	25	8	88	4	4	25	8	88	4	4
	精密機械	14	14	72	14	0	13	8	77	15	△7
	その他	18	0	100	0	0	18	0	100	0	0
計	299	5	88	7	△2	298	5	87	8	△3	
卸売業	生産財	16	0	100	0	0	16	0	94	6	△6
	消費財	11	9	91	0	9	11	9	91	0	9
	計	27	4	96	0	4	27	4	92	4	0
合計	326	5	89	6	△1	325	5	87	8	△3	

## (6) 営業倉庫保管料金

■ 2009年1～3月実績（見込み）の『料金動向指数』は、消費財卸、木材・家具、繊維・衣服の3業種がプラス、窯業・土石がゼロ水準で、残り11業種がマイナスを示した。業種全体の『料金動向指数』は△3で、前期（2008年10～12月）実績からは7ポイントの低下となった。

■ 2009年4～6月の『料金動向指数』見通しでは、生産財卸がゼロ水準まで戻すものの、木材・家具および窯業・土石がマイナスに沈むことなどにより、業種全体の『料金動向指数』はさらに3ポイント低下して△6と見込まれる。この結果、料金水準は引き下げ圧力が強まる見通しである。

### 営業倉庫保管料金の実績と見通し

業種	2009年1月～3月実績					2009年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	47	2	94	4	△2	47	2	92	6	△4
	繊維・衣服	24	4	96	0	4	24	4	96	0	4
	木材・家具	20	15	75	10	5	20	15	65	20	△5
	パルプ・紙	37	0	89	11	△11	37	0	86	14	△14
	化学・プラスチック	92	4	89	7	△3	92	5	86	9	△4
	窯業・土石	22	0	100	0	0	22	0	95	5	△5
	鉄鋼・非鉄	45	7	82	11	△4	44	4	80	16	△12
	金属製品	25	4	84	12	△8	25	4	80	16	△12
	一般機械	64	0	97	3	△3	64	0	94	6	△6
	電気機械	76	4	91	5	△1	76	1	92	7	△6
	輸送用機械	42	7	76	17	△10	42	7	76	17	△10
	精密機械	20	5	85	10	△5	19	0	89	11	△11
その他	33	0	88	12	△12	33	0	88	12	△12	
計	547	4	89	7	△3	545	3	87	10	△7	
卸売業	生産財	34	3	91	6	△3	33	6	88	6	0
	消費財	31	6	94	0	6	31	6	94	0	6
	計	65	5	92	3	2	64	6	91	3	3
合計	612	4	89	7	△3	609	3	88	9	△6	

## － 6. 物流コスト割合の動向－

■ 売上高に対する物流コスト割合の動向について、2009年1～3月実績（見込み）の『動向指数』は、精密機械、一般機械、生産財卸がマイナス、金属製品がゼロ水準で、残りの11業種がプラスを示した。業種全体の『動向指数』はプラス5で、前期（2008年10～12月）実績より18ポイントの低下となった。

■ 2009年4～6月の『動向指数』見通しでは、精密機械がプラスに反転するものの、金属製品、窯業・土石、輸送用機械がマイナスに落ち込み、全15業種中5業種がマイナス、10業種がプラスとなる。業種全体の『動向指数』は3ポイント下降してプラス2と見込まれ、物流コスト割合の上昇圧力は緩和する見通しである。

### 物流コスト割合の実績と見通し

業 種	2009年1月～3月実績					2009年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			動 向 指 数	回答社数	構成比(%)			動 向 指 数	
		上昇	不変	下降			上昇	不変	下降		
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	90	29	58	13	16	90	24	64	12	12
	繊 維 ・ 衣 服	51	35	40	25	10	51	27	49	24	3
	木 材 ・ 家 具	42	33	48	19	14	42	31	45	24	7
	パ ル プ ・ 紙	53	26	51	23	3	53	28	47	25	3
	化学・プラスチック	122	26	54	20	6	122	25	54	21	4
	窯 業 ・ 土 石	44	34	34	32	2	44	29	39	32	△ 3
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	108	35	41	24	11	107	34	40	26	8
	金 属 製 品	59	37	26	37	0	58	24	31	45	△ 21
	一 般 機 械	96	24	45	31	△ 7	95	23	48	29	△ 6
	電 気 機 械	131	33	37	30	3	131	33	37	30	3
	輸 送 用 機 械	83	30	46	24	6	83	27	43	30	△ 3
精 密 機 械	26	23	46	31	△ 8	26	27	54	19	8	
そ の 他	53	36	43	21	15	53	34	43	23	11	
計	958	31	44	25	6	955	28	46	26	2	
卸 売 業	生 産 財	60	25	45	30	△ 5	60	25	45	30	△ 5
	消 費 財	50	30	56	14	16	50	28	54	18	10
	計	110	27	50	23	4	110	26	49	25	1
合 計	1,068	30	45	25	5	1,065	28	46	26	2	